



IIIXIL 玄関ドアXE 人感センサ 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●電気工事は、電気工事士の有資格者が行ってください。

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠ 警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 警告



●火災・感電・故障のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・開口部から内部に金属類を差込んだり、落としたりしないでください。



・機器を改造しないでください。

・電源コードをキズ付けたりしないでください。

・電源を入れた状態で配線・取付け・結線をしないでください。



●施工手順書の手順に従って、製品を外壁に取付ける際に、ゆるみ・ガタツキがないように確実に行ってください。製品が落下し、ケガなどのおそれがあります。

■使用上の留意事項

●電源投入時に本製品の動作確認を行ってください。

●本製品の検出窓は常に綺麗にしてください。汚れた場合、湿らせた布(洗剤・溶剤は使用しない)で拭き取ってください。

●本製品の分解・改造・修理は行わないでください。感電のおそれがあります。

●本製品の設定を変更されたい場合は人感センサ本体同梱の取扱い説明書を確認するか施工店まで連絡してください。

●本製品の検出エリア内に動く物や照明機器を置かないでください。(植物、電飾看板など)

●本製品の検出窓に塗装をしないでください。

●本製品は、取付け説明書に従って正しく取付けてください。正しく取付けた後のぐらつきは、製品の異常ではありません。

●本製品に液体(水・ジュース・薬品など)をかけないでください。

●本製品に物をぶらさげたり、寄りかかったりしないでください。

●本製品の使用可能温度範囲は-20℃～55℃です。

●本製品は精密機器のため、荷扱いおよび取付け時に強い衝撃を与えないでください。外傷が認められなくても内部機器が損傷している場合があります。

●油などのひどい汚れは、プラスチック用クリーナー・中性洗剤で拭いてください。シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。



■停電になったとき

●人感センサを含むAC100Vで動作している全ての電気錠システムが停止します。

・室内からの施解錠時は手動でサムターンを回してご対応ください。

・室外からの施解錠時はお手持ちの物理キーにてご対応ください。

・停電復帰後は、停電前の状態に復帰します。

■施工上の留意事項

1 施工上のお願い

- 直接雨がかからないように庇や軒に設置してください。人感センサ本体の取外し交換ができるように、庇や軒との間隔を30mm以上あけてください。(図1参照)
- 本製品は後付けできません。事前に電気配線、外壁裏部の補強胴縁の設置などの打合せを行ってください。
- ①現場搬入の際には確実に施工される方へお渡しください。
- ②配線工事は、内装工事をする前に必ず電気工事店さまにご依頼ください。
 - ※内装を仕上げる前に配線工事が必要になります。
- ③人感センサ用スぺーサの配線引き込み穴位置に合わせ外壁から配線を180mm出してください。
- ④外壁裏部には補強胴縁を必ずつけてください。外壁と補強胴縁の総計の厚みは27～60mmの間で設計してください。60mmを超えた場合、人感センサが取付けできなくなります。
- ⑤お客さま・建築関係者と十分打合せをしてください。
 - ※躯体内配線のため、内装工事終了後の変更は難しくなります。
- 人感センサ本体はポーチから3mを越えて設置しないでください。感度不足になり正しく動作しないことがあります。
- 次の場所への設置は避けてください。故障の原因となります。
 - ・温度が上昇するところ(直接暖房熱の当たるところ・ボイラーの近くなど)
 - ・低温になるところ(冷凍倉庫など)
 - ・通気性の悪いところ(水・油・鉄粉・薬品などがかかるところ)
- 電源を入れる前に誤配線などがないことを確認してください。誤配線のまま電源を入れると、故障の原因となります。

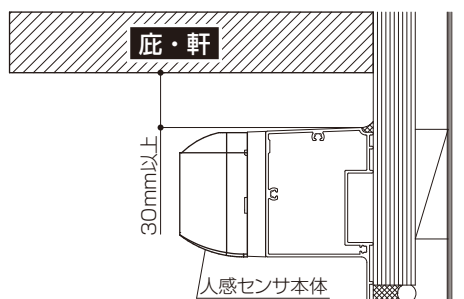


図1

2 現場手配部品

- 下記の部品を現場手配してください。
 - ・躯体内ケーブル(電源線：VCTF 1.25mm²推奨、信号線：AWG24 (0.2mm²)以上)
 - ・補強胴縁(厚み18mm以上、高さ60mm以上、長さ240mm以上)

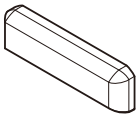
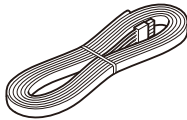
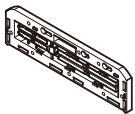
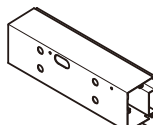
3 人感センサ取付け手順

- 施工手順の一例と本誌に記載している内容を以下にまとめてあります。
作業区分がドア・内外壁工事と電気工事に分かれますので作業に抜けやモレがなきように進めてください。

ドア・内外壁工事区分	センサ電気工事
下地施工	
ドア枠の取付け	
ドア本体の設置	
	配線工事
■補強胴縁の取付け	■下地の配線用穴加工
内壁施工	■ケーブル結線と配線の取回し※1
外壁施工	
■外壁の配線工事	
内外壁の仕上げ	
	コントローラユニット取付け※1
	機器の取付け
	■人感センサ用スぺーサの取付け
	■人感センサ本体の取付け
	■人感センサ用スぺーサのシーリング施工
	■取付け(電源接続)後の動作確認

- ※1) 本紙にはコントローラユニット配線、取付け方法については記載がありません。
エントリーセットに同梱されている「FamiLock AC100V式取付け説明書」を参考に作業を行ってください。

■梱包部材・部品

 人感センサ本体：1個  バインドタッピンねじ(M4×12)：2本  センサ同梱ケーブル(2.0m)：1個  人感センサ取扱い説明書	 樹脂スペーサ：1個  バインドタッピンねじ(M4×20)：2本  バインドタッピンねじ(M5×8)：2本  樹脂スペーサ取扱い説明書	 人感センサ用スペーサ：1個 スペーサキャップセット  スペーサキャップ：R/L各1個	人感センサねじセット(小袋入り)  グロメット：1個  皿小ねじ(M4×8)：6本  取付け用木ねじ(φ4.1×63)：4本  取付け説明書(本紙)
---	--	--	---

■下地の配線用穴加工

●下地にφ30以上の穴加工をしてください。加工位置は下記図面参照ください。

【玄関ドア XE シームレスモデル】

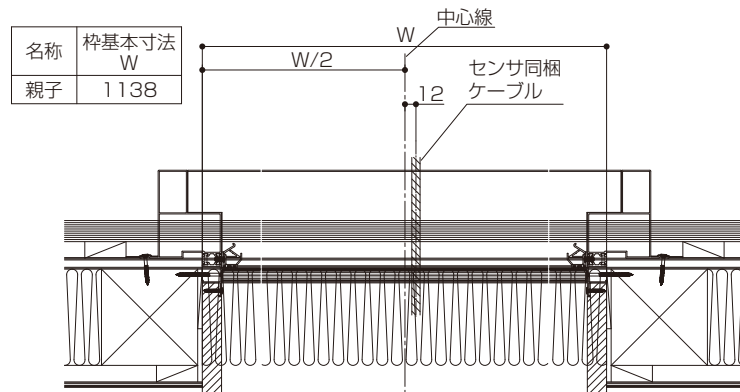


図1-1

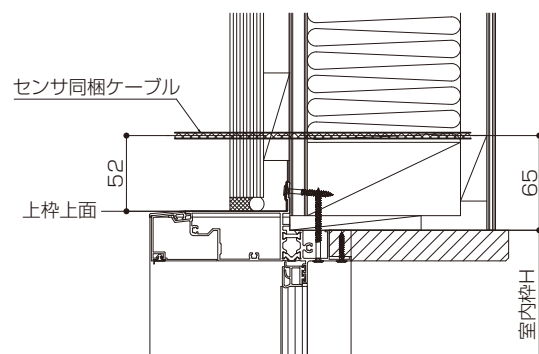


図1-2

【玄関ドア XE スタンダードモデル】

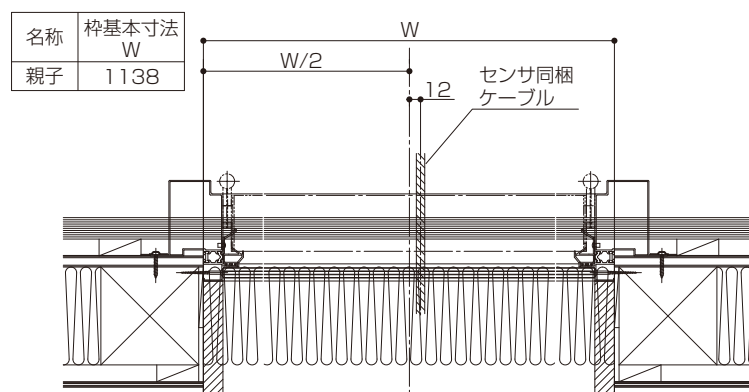


図1-3

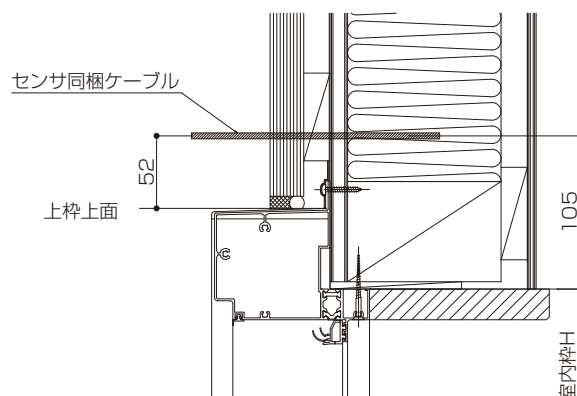


図1-4

■ケーブル結線と配線の取回し

①図2-1のブロック図を参考にセンサ同梱ケーブルとAC100Vの電源線、コントローラユニットの信号線を接続してください。

電源線、信号線はそれぞれ色を合わせ、結線してください。(図2-2)

結線を間違えると部品の破損や漏電につながります。

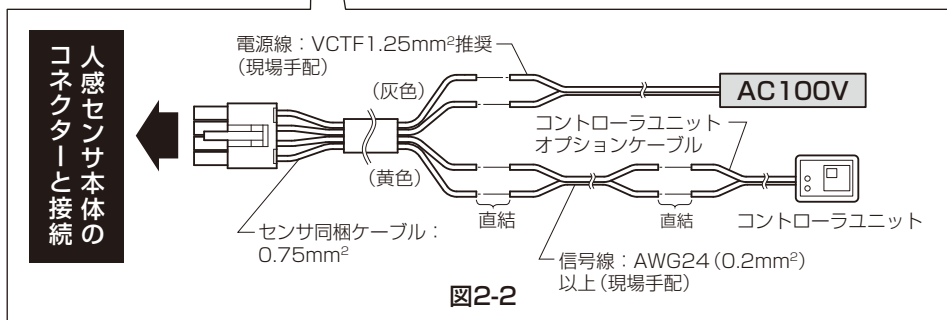
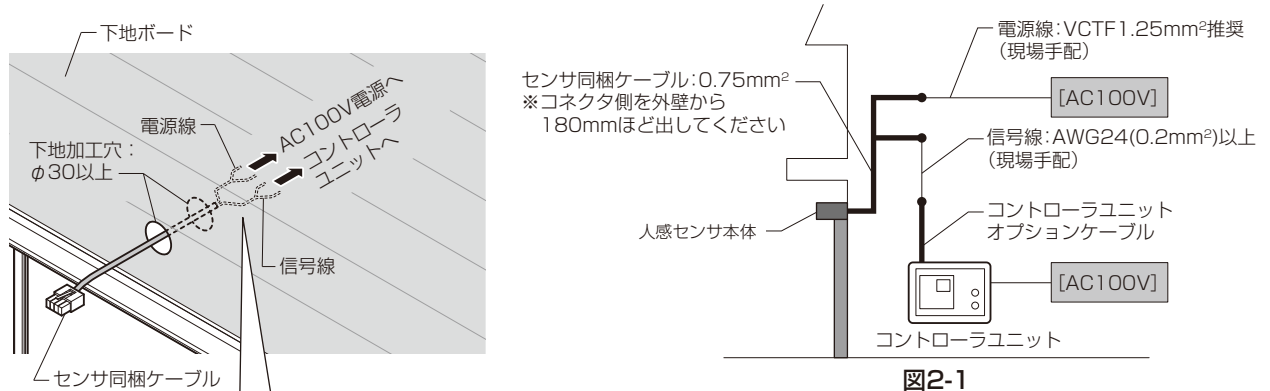
※ケーブルの被覆は必要に応じて、現場で剥ぎ取って使用してください。

※結線作業は「WAGO社 WFRシリーズ」の使用をおすすめします。

※コントローラユニット配線についてはエントリーセット同梱の「FamiLock AC100V式取扱い説明書」を参考に作業を行ってください。

お願い

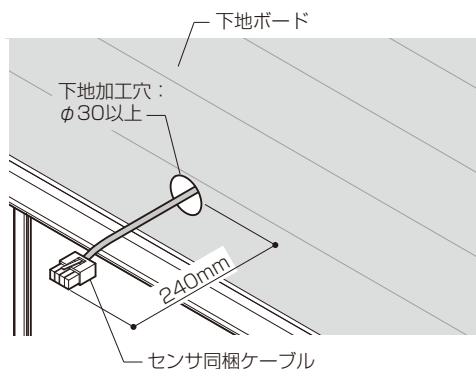
※配線工事は、内装工事をする前に必ず電気工事店さまにご依頼ください。内壁施工後は取付けできなくなります。



②結線したセンサ同梱ケーブルのコネクタ側を下地に空けた加工穴（φ30以上）に通してください。(図2-3)

※センサ同梱ケーブルは外壁からの出代が180mm出せるように下地から240mm出してください。

※センサ同梱ケーブルを通したら、下地の加工穴に止水処理をしてください。



■補強胴縁の取付け

●補強胴縁を躯体に取付けてください。

補強胴縁の位置は人感センサ用スペーサの固定ねじの位置に合わせ、取付けてください。(図3-1、図3-2)

※必要に応じてケーブル配線用の穴加工もしくは胴縁を分割して取付けてケーブルを避けてください。

お願い

※補強胴縁のサイズは厚み18mm以上、高さ60mm以上、長さ240mm以上のものをご用意ください。それ以下になると人感センサ用スペーサが取付けできなくなります。

※人感センサ用スペーサの固定ねじの位置には必ず補強胴縁を取付けてください。補強胴縁がないと人感センサ用スペーサが取付けできなくなります。

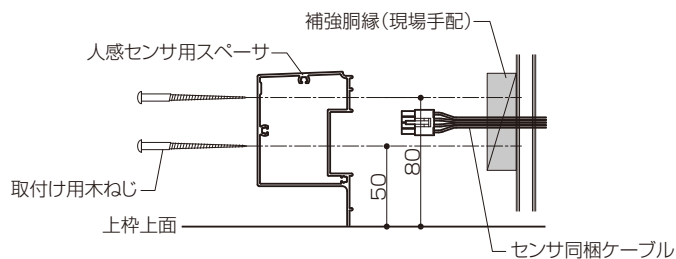
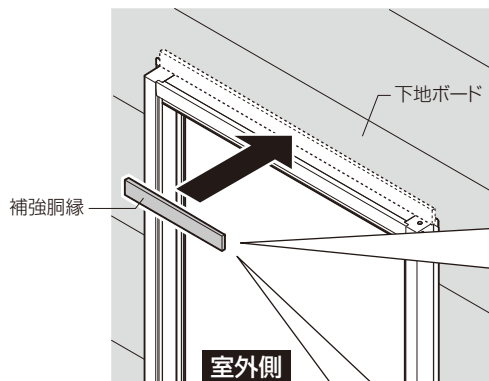


図3-1

名称	枠基本寸法 W
親子	1138

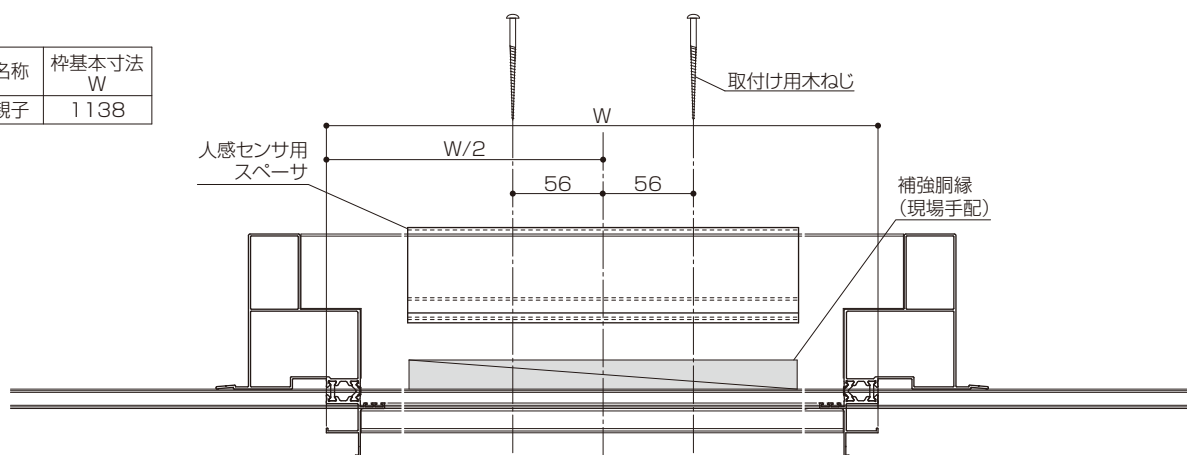


図3-2

■外壁の配線工事

●図1-1、1-2を参考に下地に空けた配線用穴の位置に合わせ、外壁にφ30以上の穴加工をしてください。(図4-1)

開けた穴に下地から出ているセンサ同梱ケーブルを通し、外壁を施工してください。

※センサ同梱ケーブルは外壁から180mm出してください。

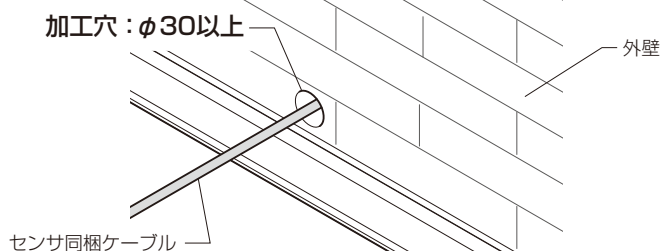
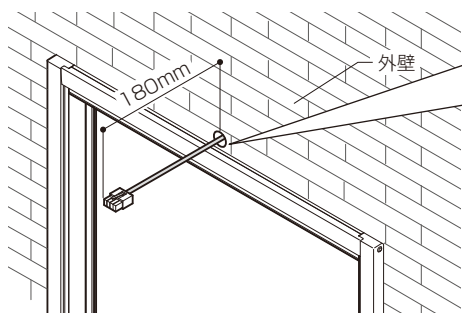


図4-1

■人感センサ用スペーサの取付け

※取付ける外壁に不陸がある場合は、スペーサ(現場手配)などで2mm以内になるように調整し取付けてください。

人感センサ用スペーサがゆがんでいるとセンサが正しく動作しなくなることがあります。

- ①人感センサ用スペーサにスペーサキャップ左右1個ずつとグロメットを取付けてください。(図5-1)
スペーサキャップは皿小ねじ(M4×8)6本で取付けてください。
- ②外壁からセンサ同梱ケーブルが180mm出ていることを確認してください。(図5-2)
- ③人感センサ用スペーサにセンサ同梱ケーブルを引込んでください。(図5-2)
(ケーブル引込みは①で取付けたグロメットに通してから表面に通してください。)
- ④人感センサ用スペーサの設置位置を合わせ、外壁に押し当てて、ねじ穴の中心がズレないように、ポンチで位置だし(4カ所)をしてください。
(設置位置の縦方向はスペーサの下端を上枠上面に当て、横方向は①で取付けたグロメットの中心と外壁に開いている配線穴の中心を合わせてください。)
- ⑤人感センサ用スペーサを一旦外し、外壁の位置だしを行ったところにφ4.5の下穴(4カ所)をあけてください。(図5-3)
- ⑥つづけて、外壁にあけた下穴の中心から補強胴縁へφ3.5の下穴(4カ所)をあけてください。(図5-4)
- ⑦人感センサ用スペーサを設置する位置に当て、外壁に取付け用木ねじ(φ4.1×63)4本で取付けてください。(図5-5)

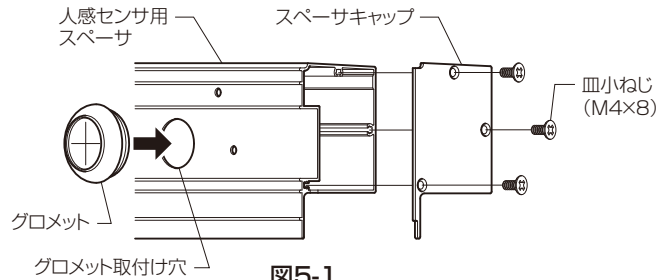


図5-1

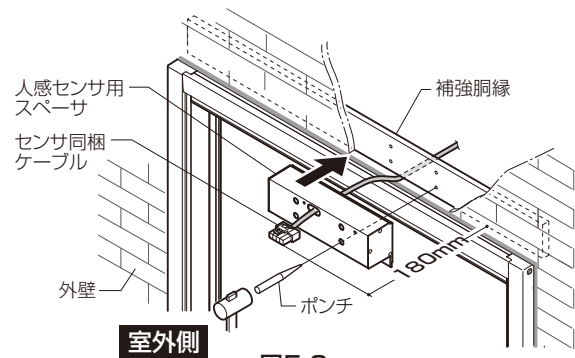
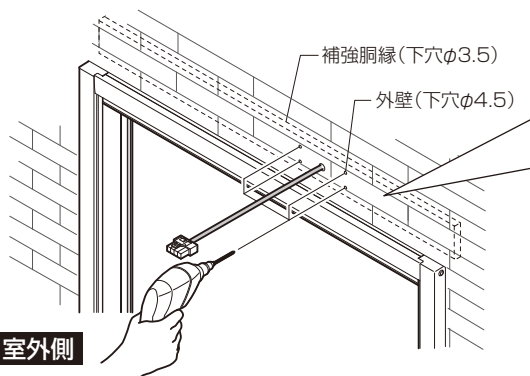


図5-2



室外側

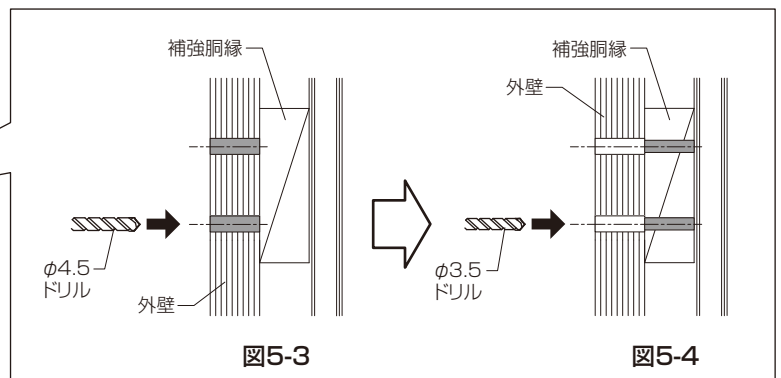
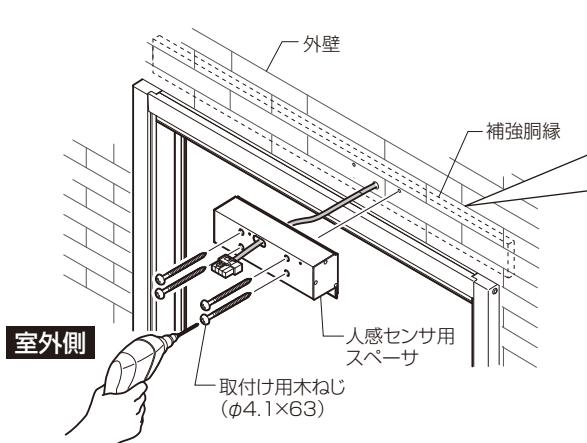


図5-3

図5-4



室外側

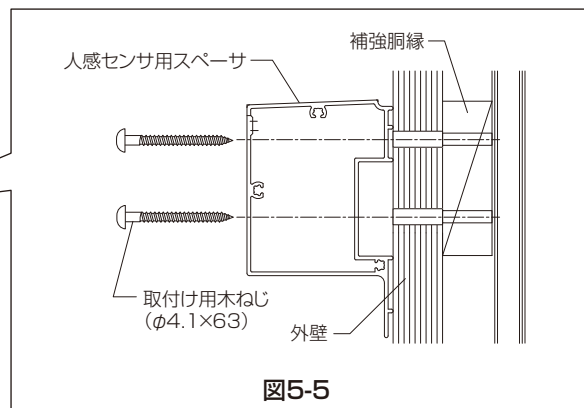


図5-5

■人感センサ本体の取付け

●設置した人感センサ用スペーサ到人感センサ本体を取付けてください。

①人感センサ本体の取付け

●人感センサ本体に取付けている化粧カバーを外し、人感センサ用スペーサのセンサ取付け穴(φ3.4)にセンサ同梱のバインドタッピンねじ(M4×12) 2本で人感センサ本体を固定してください。(図6-1)

※人感センサ本体から外壁の距離が外枠前面から外壁の距離を下回っている場合は、樹脂スペーサをご使用ください。(図6-2)
樹脂スペーサはあらかじめ同梱のバインドタッピンねじ(M5×8) 2本で人感センサ本体に取付けてください。(図6-3)
また、人感センサ用スペーサへの取付けには同梱のバインドタッピン(M4×20) 2本をご使用ください。

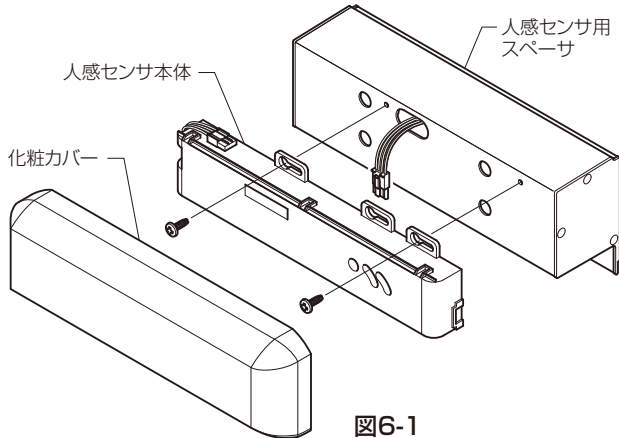


図6-1

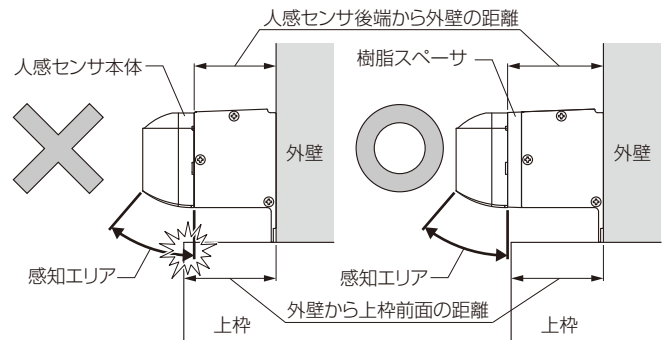


図6-2

【樹脂スペーサを使用する場合】

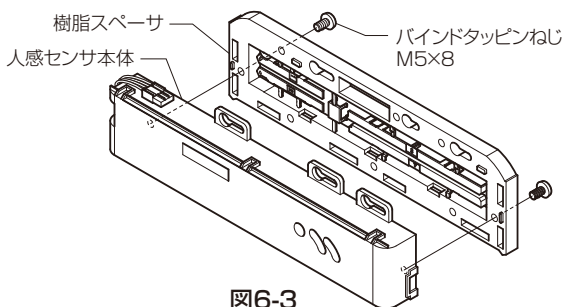


図6-3

お願い

※人感センサの感知エリアが上枠に被らないようにしてください。上枠にかぶっていると、人感センサが誤作動することがあります。

②センサ同梱ケーブルと人感センサ本体のコネクタ接続

- ①人感センサ用スペーサからコネクタを引き出してください。
※コネクタを強く引き出さないでください。結線部が断線する場合があります。
- ②人感センサ本体側コネクタとセンサ同梱ケーブル側コネクタを「カチッ」と手応えがあるまで差込んで接続してください。(図6-4)
- ③コネクタによるケーブル接続を行った後に、ケーブルの余りは開口穴に押込んでください。
※この時に無理に押込まないでください。
- ④接続が完了したコネクタはセンサ上部のツメに固定してください。

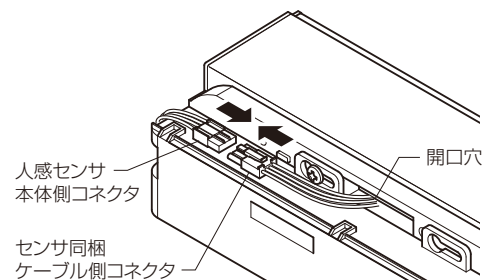


図6-4

③化粧カバーの取付け

- 最後に化粧カバーを取付けてください。
- センサ本体端部にあるツメ挿入穴(図6-6)の片側に化粧カバー側のツメ部(図6-5)を入れて、本体正面から「カチッ」と手応えがあるまでゆっくり押込んでください。
- ※無理に押込まないでください。製品が破損するおそれがあります。

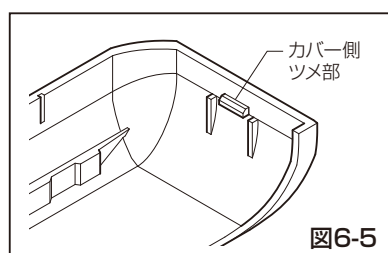


図6-5

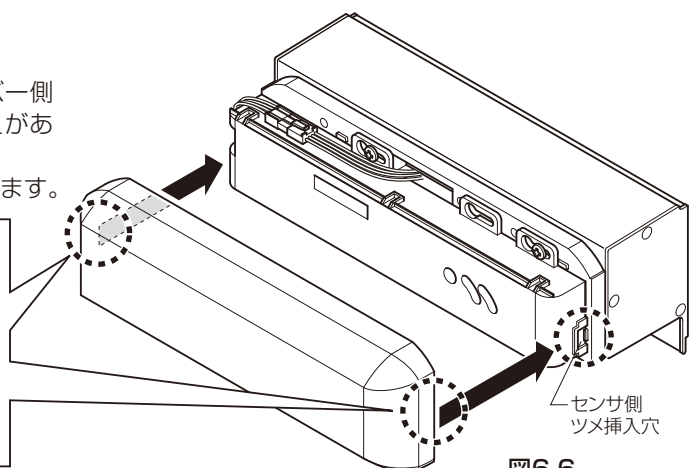
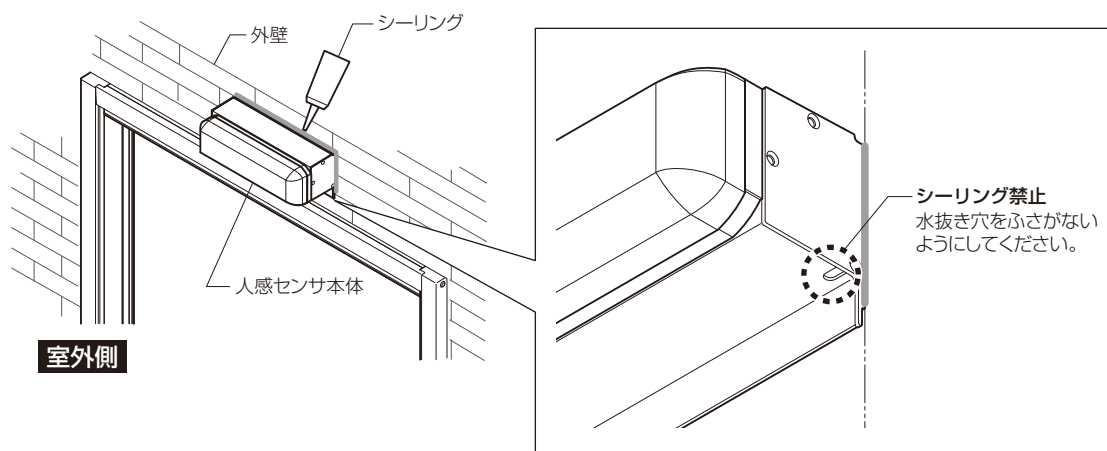


図6-6

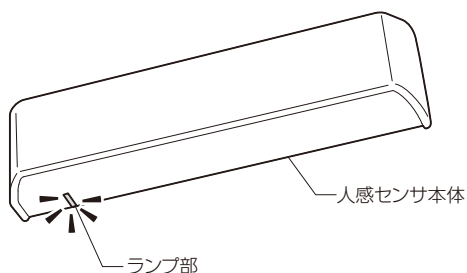
■人感センサ用スペーサのシーリング施工

- 人感センサ用スペーサの上面および側面のスペーサキャップにマスキングし、プライマーとシーリング材を塗布してください。
- ※ただし、人感センサ用スペーサの下端部に水抜き穴がありますのでふさがないように注意してください。



■取付け(電源接続)後の動作確認

- 電源接続後に人感センサ本体のランプ部が点灯していることを確認してください。
- 電源接続後はランプ部が緑と橙色に交互に点滅し、青色に点灯したら使用可能になります。
- ランプ部が点灯しない場合は電源および人感センサ本体のコネクタが指定の方法通り接続されているか確認してください。
- ※FamiLockとの動作確認については「FamiLock AC100V式 取付け説明書」の動作確認方法を確認してください。



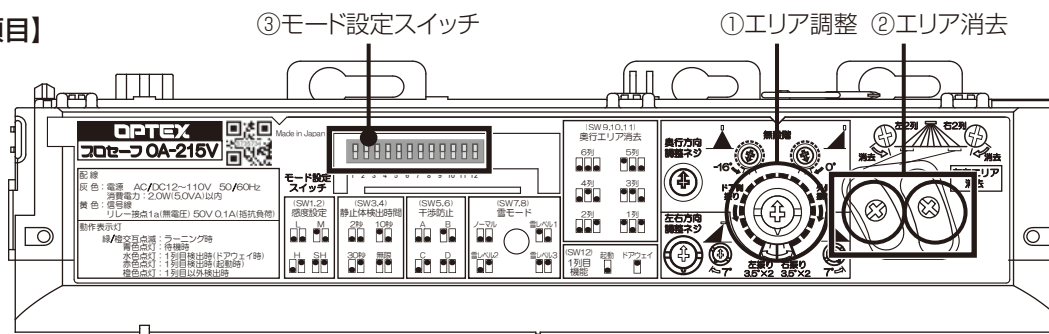
【参考】ランプ部点灯

進入動作	検出エリア外	2～6列目に進入	1列目に侵入
(イメージ)			
	待機時	動体検出時	動体・静止体検出時
ランプ部	緑色点灯	橙色点灯	赤色点灯

■各種設定

●化粧カバーの両側を広げながらカバーを外します。

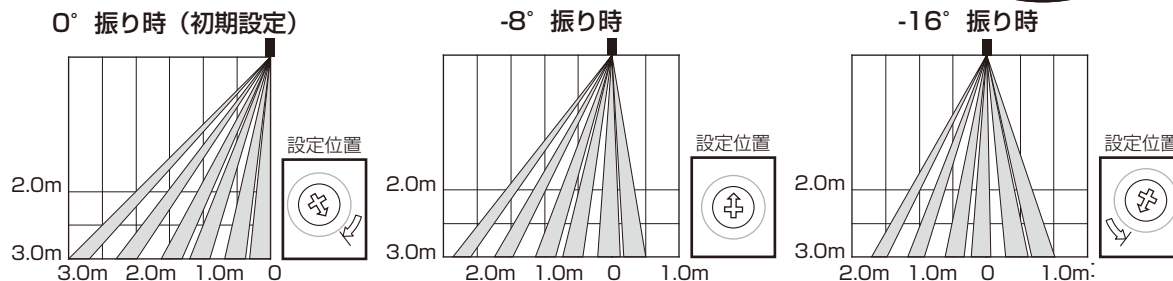
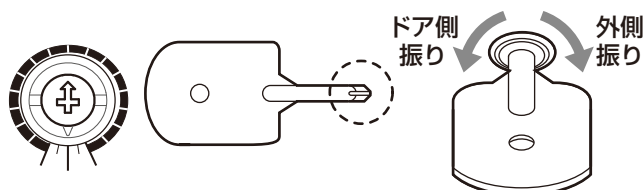
【各種設定項目】



① エリア調整

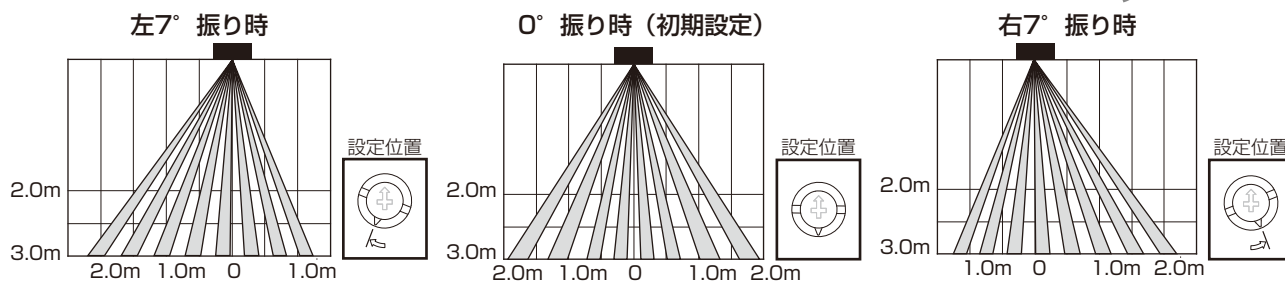
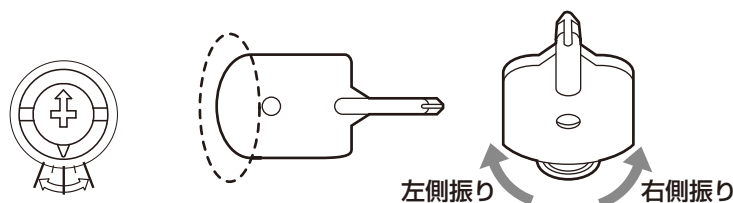
●奥行方向エリア可変(無段階)

エリア調整治具を使って角度調整ねじで、右図のようにエリアの奥行角度を調整することができます。



●左右方向エリア可変(3.5°×2クリック)

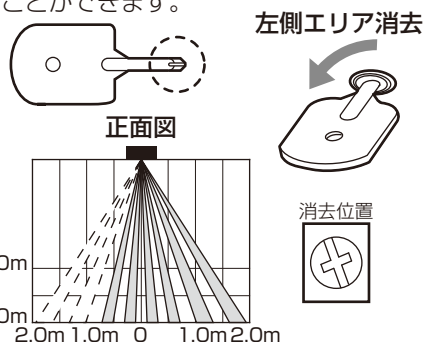
エリア調整治具を使って角度調整ねじで下図のように左右角度調整をすることができます。



② エリア消去

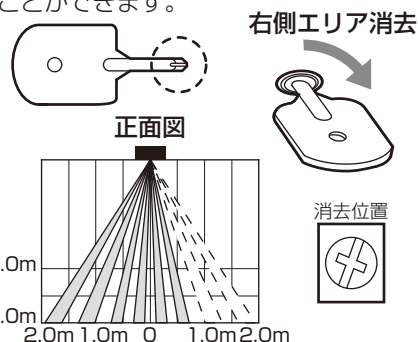
エリア左右消去 (左2列)

エリア調整治具を使って下図のように左側エリアを2列消去することができます。



エリア左右消去 (右2列)

エリア調整治具を使って下図のように右側エリアを2列消去することができます。



■各種設定(つづき)

③モード設定スイッチ

設定	機能					
感度の設定 (Dip 1,2)	右図の取付け高さを参考に、感度設定を行ってください。 動作が安定しない場合は1段階設定を下げてください。 ※初期設定は「M」	感度設定	L	M	H	5H
		取付け高さ (参考)	2.0m ~ 2.5m		2.3m ~ 2.7m	2.5m ~ 3.0m
		スイッチ				
静止体検出時間の設定 (Dip 3,4)	検出範囲内で止まった静止体を検知し続ける時間を設定できます。 例) 検出範囲内に物(静止体)を置いてしまっても、一定時間たつと検出外になります。 ※「2秒」設定は動作確認用ですので、「10秒」以上に設定してご使用ください。 「無限」に設定すると検出範囲内の静止体を検出し続けますので、FamiLockの認証が開始されなくなる可能性があります。 ※初期設定は「10秒」	静止体検出時間	2秒	10秒	30秒	無限
		スイッチ				
干渉防止設定 (Dip 5,6)	4種類の干渉防止モードが設定できます。 ※本製品では使用しないため設定を変更しないでください。 ※初期設定はdipスイッチ5、6下向き					
雪モード設定 (Dip 7,8)	4種類の雪レベルが設定できます。 ※本製品では使用しないため設定を変更しないでください。 ※初期設定はdipスイッチ7、8下向き					
奥行きエリアの消去 (Dip 9,10,11)	奥行きエリアの列数を設定することができます。 ※初期設定は「6列」					
1列目機能設定 (Dip 12)	1列目機能の設定ができます。 ※本製品ではこの機能は使用しないため、設定を変更しないでください。 ※初期設定はdip 12下向き					

※Dip 13,14は使用しません。

■仕様

取付け高さ	2.0～3.0m以内
検出方式	近赤外線反射方式
電源	AC/DC 12～110V 50/60Hz
消費電力	2.0W/5.0VA以内
使用周囲温度	－20℃～＋55℃（結露なきこと）

※商品改良のため、仕様・外観を予告なしに変更することがありますのでご了承ください。